広告主要望で特定の掲載日に掲載

米メジャー『オールスターゲーム』結果記事とマッチング

■広告主：ｽﾎﾟｰﾂｵｰｿﾘﾃｨｰｵﾝﾗｲﾝｼｮｯﾌﾟ
■業種：通販
■媒体名：産経新聞全国
■掲載面：スポーツ面
■掲載日：７月１２日
■要望：メジャーリーグの「オールスターゲーム」結果記事の近くに掲載。
■広告会社：ADK

〈第三種郵便物認可〉 産経新聞 平成19年(2007年)7月12日 木

イチロー走快MVP

輝き増す51番…「違う自分感じた」

ア・リーグの10連勝とMVP

開催都市	ア	ナ	MVP
ｸﾘｰﾌﾞﾗﾝﾄﾞ	○3—1●	S・アロマー	
ﾐﾝﾊﾞｰ	○13—8●	R・アロマー	
ﾓﾝﾄﾘｵｰﾙ	○4—1●	P・マルティネス	
ｱﾄﾗﾝﾀ	○6—3●	D・ジーター	
ﾃｷｻｽ	○4—1●	C・リグケン	
ﾐﾙｳｫｰｷｰ	△7—7△	なし	
ｼｶｺﾞ	○7—6●	G・アンダーソン	
ﾋｭｰｽﾄﾝ	○9—4●	A・ソリアーノ	
ﾃﾞﾄﾛｲﾄ	○7—5●	M・テハダ	
ﾋﾟｯﾂﾊﾞｰｸﾞ	○3—2●	M・ヤング	
ｻﾝﾌﾗﾝｼｽｺ	○5—4●	イチロー	

【サンフランシスコ＝丸山和郎】米大リーグのオールスター戦は10日、サンフランシスコのAT&Tパークで行われ、マリナーズのイチローが逆転の2点ランニング本塁打を放つなど、3安打2打点の活躍で最優秀選手（MVP）に輝いた。オールスター戦でのランニング本塁打は史上初で、日本人選手がMVPに選ばれたのも初めて。

イチローは一点を追う五回一死一塁で右中間フェンス直撃の打球を放ち、一気に生還した。初出場の斎藤（ドジャース）は七回にナ・リーグの7番手で登板し、1回無失点。岡島（レッドソックス）は登板機会がなかった。

試合はイチローの本塁打で逆転したア・リーグが5—4で逃げ切り、1997年から1引き分けを挟んで10連勝。今秋のワールドシリーズの本拠地開幕の権利を獲得した。（ネット・レンコー）

ドジャースの斎藤は七回に登板し、ア・リーグの強力打線を三者凡退に仕留めた（ロイター）

1回無失点 斎藤「守護神」の自負

37歳の斎藤が七回、夢のマウンドに立った。「ア・リーグのもっと強い打者ばかりで、もっと興奮するかと思ったが、自分のスタイルは変えようがない」

先頭のロバーツにはボールが先行したが、直球と切れの鋭いスライダーで三者凡退に抑えた。ドジャースの守護神としてカーテンコールに包まれ、誇らしげに笑った。ボンズ（ジャイアンツ）やA・ロドリゲス（ヤンキース）ら名押しのけて主役の座を射止め「きょうの思い出が、サンフランシスコを好きにさせてくれた。初めて楽しいオールスターになった」。78年の歴史を持つ大リーグのオールスターで史上初のランニング本塁打に日本選手初のMVP。イチローがまた輝いた。

五回の第3打席。本塁打かと入る大飛球を右翼へ打ち上げた。一度は足を緩めようとしたが、フェンスを直撃。二打球は本塁に向かうバウンド。その瞬間、一気に加速度を増した。さっそくダイヤモンドを一周するとファンは総立ちで歓声をあげた。

第7打席は痛烈に二、二塁間を抜った。第2打席は外角低めの変化球を左翼前へ。「これも作品という感じだった」と得意げに振り返る。「これまでの6年とは違う。自分がいる。それを感じることができたのがうれしい。いま大きなお進化を続けていることを自らも確信する」一夜となった。

米球界でもイチローがスーパースターの一員である問われると「そのうちわかるだろう。もはや疑いの余地はない。今季はマリナーズとの4年契約の最終年で去就が注目されていたが、シアトルの地元紙などがこのまま契約延長が間近であることを報道。米メディアの関心も一気に高まった。

自らの契約問題についてことに、